

4 漁況海況予報事業

友利昭之助、喜屋武俊彦、

金城武光、川崎一男、吉川一男

沿岸沖合漁業に関する漁況及び漁場環境を調査研究し、その結果に基づいて、これを迅速に予報することにより漁業資源の合理的利用と操業の効率化をはかり、経営の安定に資する。

方法と内容

使用船舶 函南丸 216.09トン、赤嶺正弘船長、外19名

くろしお 21.44トン、比嘉幸一船長、外6名

定線調査 海象気象、水温塩分は0m、10m、20m、30m、50m、75m、100m、150m、200m、300m（300mは沖合定線のみ）、 \oplus ネット、 \otimes ネットによる卵稚仔調査。

漁況調査 県下関連漁協のカツオ、トビウオ、トビイカの水揚量調査。

実施経過は第1表第2表のとうりである。

第1表 沖合定線調査実施表

航次	実施年月日	船名	測点数	調査員	補助点
1	昭和53年 4月17日～ 4月19日	函南丸	12	友利	11
2	昭和53年 7月12日～ 7月14日	〃	12	友利、吉川	11
3	昭和53年 9月19日～ 9月21日	〃	12	喜屋武、川崎	11
4	昭和53年11月13日～11月15日	〃	12	友利、上原	11

第2表 沿岸定線調査実施表

航次	実施年月日	船名	測点数	調査員	備考
1	昭和53年 4月13日	くろしお	10	金城	沖繩南部・ —
2	昭和53年 5月18日～ 5月20日	〃	18	吉川	〃 ・ 金武湾定線
3	昭和53年 6月13日	〃	10	喜屋武	〃 ・ —
4	昭和53年 8月 9日～ 8月10日	〃	18	友利	〃 ・ 金武湾定線
5	昭和53年 9月25日～ 9月26日	〃	8	吉川	— ・ 〃
6	昭和53年10月18日～10月19日	〃	10	金城	沖繩南部・ —
7	昭和53年11月15日～11月17日	〃	18	吉川	〃 ・ 金武湾定線

結果

調査結果は南西海区ブロック会議で報告している。また結果の詳細については、昭和53年度漁況海況予報事業報告書として報告するため省略する。